

別紙

公開概要書

受付日	3月 2日	回答日	3月 11日	担当課	人口拡大課
意見等の内容	<p>益田版「楽市楽座」について</p> <p>地域自治組織の活動を外部に向けて活性化するため、また地産地消や地域の収入源の確保などのために、各地域の特産品を販売する市場を設けてはどうか。歩行者天国にした場所に軽トラックを連ねて店舗とし、月ごとに担当地域を決めて行うなど。</p>				
回答の内容	<p>現在本市では地域自治組織が15地区設立され認定され、今年度末にはさらに2地区の設立が予定されているところであります。</p> <p>これらの各地域自治組織では各々の主体性に基づき取組み、それぞれ特色のある活動となっているところです。例えば、真砂地区においては、地元で生産した野菜を地元の保育園を始め市内保育園の給食に提供をしています。安田地区で開催されている「安田ええもん市」は地元野菜や手作り商品の販売などを行うものであり、このような産直市はその他いくつかの地区においても、実施されているところです。また、二条地区においては、地元の産品をお中元やお歳暮などとして贈る「二条ふるさと便」により、対外的な経済活動につなげる仕組みを作っているところです。</p> <p>ご意見では、現在の各地域自治組織の取組みが内部活動であり、それらの一部を外部に向けたものにする事で組織の活性化を図ることが必要だという趣旨でございました。</p> <p>外部に向けた活動にすることで生産者と消費者の接点ができることは、生産者の励みにもなりますし、生み出される現金収入は地域自治組織の経済基盤の一助にもなると推察できます。</p> <p>しかしながら、ご提案にありますような毎月の開催、歩行者天国の設定などの開催については、現時点では困難かと思われまます。各地域自治組織で文化祭やイベントなどではすでに実施されており、またそれぞれの団体の生産規模や仕組み、その意図やめざすところが各地区で異なる独自の取組みでもあることから、既存の動きを尊重し見守ることにしたいと考えます。</p> <p>今後、ご提案のようなアイデアが地域自治組織の主体的な意思として発案されることがありましたら、可能な協力や支援を行ってまいります。</p>				

※簡潔に分かりやすく記載すること